

平成 24 年 8 月 6 日（月）から 8 月 10 日（金）までの 5 日間、林野庁中部森林管理局木曾森林管理署で就業体験をさせていただきました。その実習内容に関する報告をさせていただきます。

1 日目（8 月 6 日）は、教職員対象の森林・林業体験学習研修会に研修生として参加しました。長野県の自然保護レンジャーの方々の解説のもと、王滝村で植物観察を行いました。午後は間伐体験の予定でしたが、雨天のため予定変更し、松原ふれあい係長が赤沢休養林の案内をしてくださいました。赤沢のことだけではなく、案内の際のポイント、苦労点などふれあい係としての業務のお話をうかがうことができました。

2 日目（8 月 7 日）は、製品生産請負事業および林業専用道新設の現場を、井上業務第二課長と内藤森林管が案内して下さいました。集材の前段階の索張を行っている業者の方にもお話をうかがう機会を作っていただき、請負業者の組織や、林業の現状を知ることができました。専用道新設で先行伐採を行っている方にも、業務の苦労点をうかがうことができました。

3 日目（8 月 8 日）は、長野西部地震による御嶽山崩壊跡地および治山工事箇所の見学でした。高嶋署長、三島治山課長にもご同伴いただき、中畑技術専門官が詳しい解説をして下さいました。崩壊跡地は様々な角度から見学でき、土砂の流路やその後の地山工事の様子、また合流した国土交通省砂防事務所との関連についても教えていただきました。また翌日の森林ボランティア作業地の案内もしていただき、森づくりの解説をして下さいました。

4 日目（8 月 9 日）は、愛知県阿久比高校森林ボランティアにスタッフとして参加しました。松原ふれあい係長の進行のもと、ハンノキの除伐を行いました。今村業務第一課長がご同伴して下さり、高校生 5 人のグループの除伐の補佐をしました。高校生の参加動機は様々でしたが、森林作業を通して日本の森林について考えるよい機会だと思いました。森林ボランティアに、参加者ではなく主催者側から関わったのは初めてだったので、貴重な体験でした。

最終日の 5 日目（8 月 10 日）は、小川入国有林の造林現場で実務体験をさせていただきました。井上業務第二課長と古田森林官のご指導のもと、ヒノキ苗の活着調査を行いました。造林被害報告書の記入のため、苗が健全に生長しているか、また故損木の場合、生物害・気象害・施業害の判断方法を学びました。その後井上業務課長が焼笹集材所を案内して下さいました。集材所は初めて訪れたので、大変勉強になりました。

ご多忙の中、ご指導していただきありがとうございました。